

あじさい 155号

もくじ

- 相川先生、おめでとうございます
定例会発「理事長を囲んで」後編
- 育成会 ing
福祉懇談会・新年親子の集い
- わが子の健康どう守る？後編
- おしらせ

2年ぶりのバスハイク



令和元年、2年とコロナウィルス感染拡大を考慮し、バスハイクの実施を断念しましたが、今年は2年ぶりに実施することができました。ご案内した頃は感染拡大も続いていたため参加を見合わせた方も多かったようで、今回はバス1台での実施となりました。

今年の行き先は平戸で、平戸大橋や平戸城を訪ね、昼食はホテルで新鮮なお魚をいただきました。長崎県が行っているキャンペーンも利用でき、クーポンをもらったみなさんはお土産をじっくり見てまわっていました。車内ではDVDを観てもらいながら会話を減らし、マスク着用や消毒など、感染防止に務めながら楽しんでもらいました。



福祉懇談会開催



障害者福祉懇談会が開催され、「前に進むための工夫をいっしょに考え、団体と行政が考えを同じくするためにも大切な場です。」と市長からお話がありました。

P5に関連記事

おめでとございませす!

平成18年より長崎市手をつなぐ育成会理事、29年より評議員を務められ当会ともゆかりの深い相川勝代先生が、今年の秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章されました。

先生は精神科医として多くの知的障害児・者や発達障害児・者の主治医という立場に留まらず、広く障害児・者に関わる教育、支援、医療など長年多岐に渡って携わって来られました。今回は障害のある人の教育について大きな功績とその努力に対しての受章です。

先生がまだ20代の頃、市町村に育成会を立ち上げるため奔走されていた県育成会事務局のお手伝いをされたこともあったそうで、仕事の合間に離島などへも出向かれたそうです。「思えばあれが出会いだったかもしれませんね。」と当時の思い出とともに話してくださいました。養護学校義務化になったとき、尊敬する恩師の勧めで、障害のある児童生徒の教育に携わる教員養成のため長崎大学教育学部で仕事を始められました。



「マスクをしている方が今の時代っぽいでしょう?」とマスクを取らないおちゃめな相川先生。

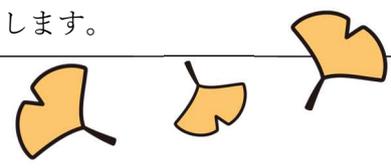
「自分が強く求めたというよりも節目節目で恩師や周囲の勧めや依頼に導かれて今があるんですよ。」と笑顔で話される相川先生。今回の受章も障害のあるご本人さんやご家族にたくさんのお祝いの言葉をもらい、「みなさんが喜んでくださるのがとても嬉しかった。みなさんとの出会いがあったからこそ力を尽くす機会をいただいたんです。」と語られました。先生にとってはこの受章は通過点。これからも健康に気を付けて障害のある人たちに関わっていただきたいです。おめでとございませす。

育成会からお祝いの品を贈らせていただきました。

「理事長を囲んで」理事長への質問後編

前号で「理事長を囲んで」と題した定例会に参加できない方からの質問に対する理事長からのお答えをご紹介しましたが、今回は後編として残りの質問と回答をご紹介します。

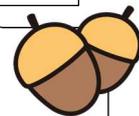
Q. 会員活動の活発化についてどう考えていますか?



A. 若い世代の育成会離れは全国育成会連合会でも課題となっているようです。今は情報も誰でも手に入る時代ですし、様々な制度も大きく進み公的な支援も受けられる時代となりました。長崎市手をつなぐ育成会としては全国育成会と同様、障害のある人たちに対する理解啓発を社会に向けアプローチし続けることが啓発活動の重要な視点と考えています。どこにも負けない情報とどこにも負けない支援力を目指していけば、情報に通じた、支援に満足した若い世代でも育成会を向いてくれるのではないかと考えています。

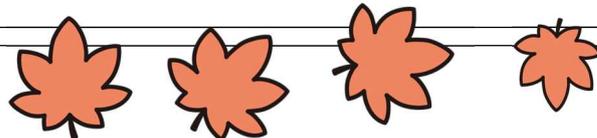
実際、今の啓発事業部はよかよか隊の活動をはじめ本人活動、会員さんのお世話などよく頑張っています。諦めずにやり続けなければならないでしょう。

Q. 長崎市育成会オリジナルのサポート体制(高齢化、親なき後など)の構築をお願いします。



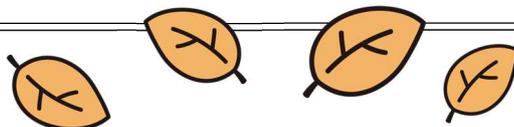
A. 障害者の高齢化、親亡き後の課題は、法人として育成会だけで解決をしていけるものではなく、広く社会と連携して課題を解決していかなければと思っています。長崎市育成会も大きくなりましたが、大きくなったと言っても法人の力にも限界があります。地域、行政、司法など、多くの社会資源と手をつないでサポート体制を組んでいきたいと考えています。65歳問題もどのケースも簡単にはいかないこともありますが、地域の介護事業としっかり連携して、良い成果を出していることもあります。育成会として次年度の福祉懇談会でも陳情し今後も地域連携を進めていきます。それが「手をつなぐ」ということだと考えます。 ※65歳問題については育成会 ing に市からの回答を掲載しています

Q. 職員不足。定着しない理由は何でしょうか？



A. ケアホーム勤務の方でなかなか人が集まらないことはありますが、うちは10年以上の職員も多く、定着しないというのがどこの事業所を指してられるのかわかりません。辞める人は確かにいますが、それぞれに理由があり、事業所の課題というようにはとらえておりません。働き方改革の考え方を早くから取り入れ、より働きやすい職場を提供できるよう日々考え実行してまいります。

Q. 法人後見は大変だと思いますが実現を希望したいです。



A. 8月の福祉新聞に成年後見制度に社会福祉法人の活用を検討するという記事が掲載されました。2022年から国の基本計画に反映する考えで、市民後見人と並んで法人後見を増やすことを明らかにされました。この成年後見制度についてはご承知のように全育連の権利擁護センター(千葉)の活動が活発で、久保会長も国の成年後見制度利用促進専門家会議に参画されており、知的障害者の後見制度の課題について大いに発言をされています。各地の育成会で地域の家庭裁判所へ提言したり、法人後見で名乗りを上げたりしていますが、長崎市でも顧問の山本弁護士のお力を借り家庭裁判所に話に行ってもらいました。なかなかの鉄壁で簡単なことではないようでしたが、今回のように流れが出てきてうれしいことだと思っています。

最後にご紹介ですが、全国手をつなぐ育成会連合会のHPに、権利擁護センターが実施した成年後見についてのアンケートのまとめが掲載されています。是非ご一読いただければと思っています。後見制度の課題、知的障害者に特化した課題等々、初めて確認した内容もありました。最近は大会もありませんが、全育連も常に情報発信をしていますのでご覧いただければなによりです。

2号に渡り理事長への質問と回答を紹介させていただきました。ご質問をお寄せいただいた方、ありがとうございました。直接会ってもっと掘り下げて聞きたい方もいらっしゃるかもしれません。今後も折をみて理事長と直接話す機会を持ちたいと思いますが、今すぐ聞きたいことがあるという方は直接啓発事務局にお尋ねください。 ☎095-845-5677

<育成会 ING>

令和3年度福祉懇談会が開催されました

田上市長や福祉部長、障害福祉の担当者を迎え、53回目となる令和3年度長崎市心身障害者団体連合会主催の長崎市障害者福祉懇談会が11月22日にハートセンターで開催されました。毎年各障害者団体より要望を上げ、長崎市からの回答をいただいています。今年は7つのA項目が要望として提出され、そのうち当会からも2つの要望を提出しました。

【要望①】平成30年に長崎市が行った障害者の現状についてのアンケートでは、約半数の方が障害について理解は深まっていないとの回答結果だった。当会ではキャラバン隊を組織し地域に理解啓発の活動を行っているので、長崎市内での研修開催を後押ししてほしい。

【回答】「長崎市第4期障害者基本計画」において障害及び障害者に対する正しい知識の普及や障害への理解と認識を深める取り組みに務めている。今後「長崎よかよか隊」の取り組みの周知と市職員等を対象にした研修や民生委員・児童委員研修において活用することも検討し理解促進に努めていく。

【要望②】65歳に達すると介護保険優先となり障害福祉から介護保険のサービスへ移行となる。知的障害は重度でも身体に障害がない場合、介護認定は軽い判定しか出ず障害福祉で受けていたサービスが受けられなくなることもある。障害のある人たちはどこでどのように老後を過ごせばいいのか、本人・家族は不安を抱えている。高齢の障害者がどうすれば幸せな生活を送れるのか見解を聞かせてほしい。

【回答】長崎市では一律に介護保険法に基づくサービスを優先することなく、具体的な利用意向を聞き取り、個別のケースに応じて適切に判断することになっている。しかし相談支援事業所等への周知が十分浸透しておらずこのような至急の可否を判断する際の認識にずれが生じている部分があるのであれば周知を徹底していかなければならない。相談支援事業所等の関連機関と連携し、個々の障害特性を理解したうえで適切な支援の提供に繋げ、障害者が安心して生活を送れるよう努めていく。

令和4年新年親子の集いについて

令和4年の「新年親子の集い」ですが、昨年度に引き続き各事業所での分散開催が決まりました。育成会以外の事業所をご利用の方は例年通り下記の日程でハートセンター体育館にて開催しますので、ぜひご参加ください。ご家族の付き添いはできますが、抽選権はありませんので予めご了承ください。ご参加を希望される方は事前に必ずお申し込みをお願いします。

とき：令和4年1月8日（土）10：00～12：00

ところ：ハートセンター3F体育室

お申し込みは育成会啓発事務局 ☎095-845-5677

福祉医療費支給申請書の受付について

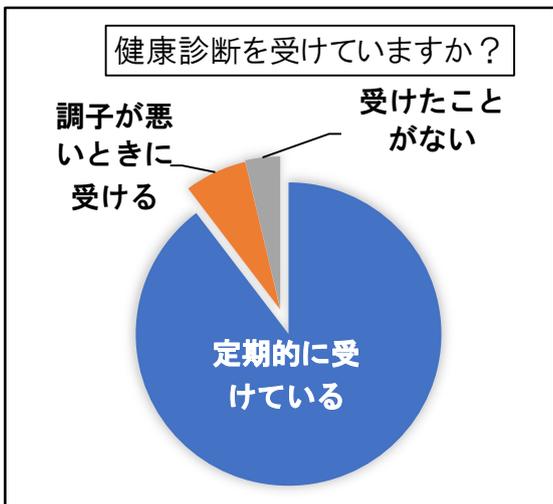
心身障害者福祉医療費については提出締め切り日が毎月20日となっていますが、12月は地域センターなどへの提出期限が15日（水）になるそうです。16日以降の提出は可能ですが、令和4年1月受付扱いとなるそうですのでご注意ください。

わが子の健康 どう守る？その2

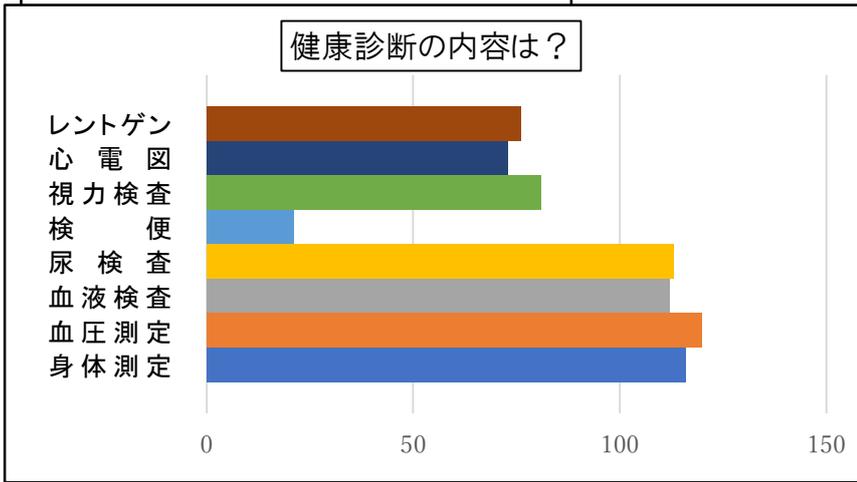
広報154号では、『ご家庭での健康管理』というテーマで、健康面で気になること、病院との付き合い方、自分の健康に対する意識などについての回答を見ていただきました。今号では『健康診断について』、『保険について』の結果をご紹介します。(※回答 男性75名、女性58名 計133名)

健康診断について

前回のアンケートでは、「病院が好き」または「きらいではない」という方のほうが「苦手」と答えた方より多かったですが、健診となると検査の内容も様々で、普段の受診と違って馴染みのない検査に苦手意識が強くなるのではないのでしょうか。特に歯科は、小さい頃、怖がる子どもの治療に苦労された方も多く、みなさん虫歯にならないよう神経を使われるようで、87% (116人)の方は歯科の定期受診を受けられていました。小さい頃からの積み重ねでスムーズに受診できるようになる人も多いようです。



定期検診は85% (122人)が受けており、「調子が悪いときに受ける」という方と合わせると96%が検診を受けていました。また「受けたことがない」という方も5人いらっしゃいました。『どこで検診を受けていますか』という問いには114人が「事業所で受けている」、22人が「親が病院に連れて行って受けさせる」(両方に○を付けた人もあり)「その他」は学校という回答でした。健康診断を受けている人にその内容を聞いたところ、多くの方が事業所の定期検診を受けていることもあり、概ね同じような回答となりましたが、育成会事業所では検便以外の検査は全事業所で行っている



にもかかわらず、受けていると答えた検査項目にはばらつきがあり、はっきりと検査内容を把握されていないご家庭もあるようでした。検査結果には目を通されるでしょうが、どのような検査の結果なのかは気に留めておられないのかもしれませんが。また検便とあるのはさんらいずが食品を扱っているため、検診の科目ではありませんでした。

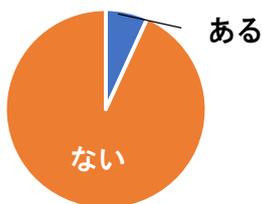
検査の結果、様々な異常が見つかったと回答がありました。肥満や高血圧、コレステロール値の異常などが多く、これは前号に掲載

健診の結果見つかった異常は？

肥満、肝機能異常、高コレステロール、高血圧、不整脈、白血球数上昇、慢性腎臓病、甲状腺ホルモン異常、心電図異常、尿たんぱく、血中脂質、痛風、半月板損傷、白内障予備軍、脂肪肝、徐脈など

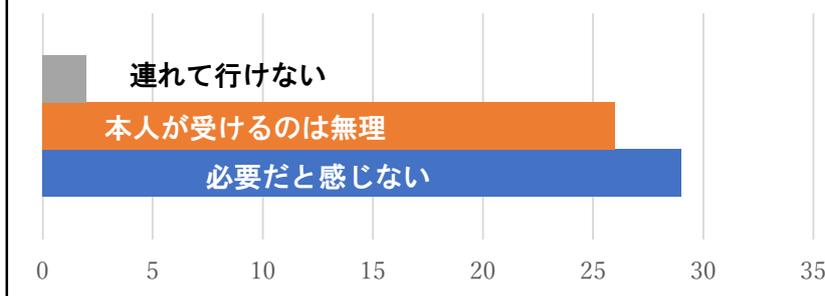
した質問「お子さんの健康で気になること」の回答が肥満や運動不足が多かったことと繋がります。また薬の副作用から来る数値異常もあるようで、服薬が必要なのにそのために健康でいられない状況も見られお悩みの方も多いようです。大部分の方は検査の結果を受け、受診して治療や服薬、経過観察をされているとのことでした。

がん検診を受けたことがありますか？



次にがん検診を受けたことがあるかという質問には「ある」と答えた人は7%（118人中8人）で、「乳がん」「子宮がん」の健診を受けていました。受けたきっかけは健康診断の再検査で、中には定期的に受けているという方もいらっしゃいました。

がん検診を受けない理由



受けない理由は「必要だと感じない」「受けるのは無理」という意見で、その他、「健康診断での所見がない」「まだ若いから」「考えたことがなかった」などがありました。

みなさんの書き込みから、受けさせないといけな思われている方は一定数いらっしゃいますが、特別な器具を使うがん検診はやはり知的障害のあるわが子には難しいとお考えの方が多くありました。

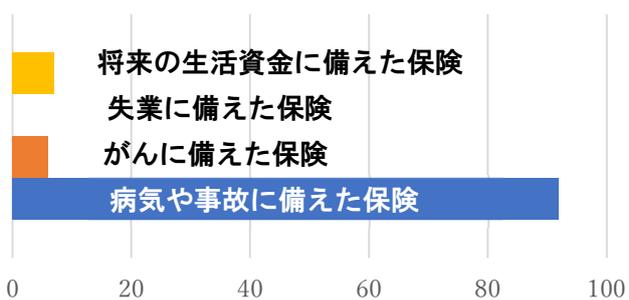
知的障害のある人の病院受診・健康診断の悩み

- ・本人が健康の異常を自覚するのは難しいし、異常があっても訴えることができないこと(同意見複数あり)
- ・予約時に障害があることを伝えると断られる ・こだわりや恐怖心が強く、がん検査は無理だと思う。
- ・本人の高齢化に加え、長期服用している薬の副作用での内蔵の機能低下を避けることができない
- ・障害があっても快く受け入れる病院であってほしい。
- ・障害のある人が特定の誰かではなく、様々な人に頼れる将来が必要。
- ・視力・聴力の検査が難しい。 ・入院となったとき一人で入院できるか不安。
- ・偏食などのこだわりや早食い、残さないこだわりなど、健康に直結する食事のことが今のところ心配。
- ・本人が初めてのことや慣れないことを受け入れるのが難しい。
- ・言葉だけの説明では指示が伝わらないことがある。そのため病院でも分からないと思って説明せずにやらせようと無理強いされたり、大きな声で指示され結局興奮して落ち着かなくなってしまう。

保険について

保険に入っているかどうか尋ねたところ86%（回答122人中105人）が入っていると答え、ほとんどは病気やけがに備えた保険でした。保険に関しての悩みは「障害があるため通常の保険に入れない」という意見が多く、「生活費が

どのような保険に入っていますか？



ギリギリで保険に入りたくても入れない(本人)」「掛け捨てではなく積み立てがある保険を」「親なきあと保険料が払えなくなるのでは」という不安を訴える方もいらっしゃいました。障害のある人向けの保険はあるものの種類は少なく、またその情報を知らない方も多いようです。

2回に渡ってご家庭での健康管理についてのアンケート結果をご紹介させていただきました。知的障害のある人にとって自分の健康状態を自覚し、健康維持のため意識的に運動をするなど自分の生活習慣を見直すことは難しいことです。そのため家族が本人の健康を管理し、病気を早期発見することが健康維持のカギになります。しかし多くの家庭で小さい頃から医療機関での不愉快な体験や失敗体験の積み重ねがあり、そのため受診は困難なことになってしまいます。それでも工夫をして体験を重ねることで受診への負担を克服された方、また本人が成長することでスムーズな受診が可能になった方もいらっしゃいました。「病院が好き(嫌いではない)」という回答が多く上がったことから克服されたことが分かります。それでもがん検診などはまだまだハードルが高く、定期受診をされている方はごく少数でした。今後は家庭の努力だけでなく、知的障害のある人やその家族のニーズに沿った受診や検査を困難に感じない医療機関の工夫などを求めていかなくてはならないのではないのでしょうか。

コロナ禍でも止められない啓発!

コロナ禍で数々の対面する形態の研修会が中止を余儀なくされ、長崎市手をつなぐ育成会の知的障害理解啓発キャラバン隊「長崎よかよか隊」の活動も今までのように依頼を受けることも少なくなりました。依頼を受けていた研修会も長崎県独自の緊急事態宣言の発令に伴い、残念ながらキャンセルになることもありました。しかし少人数の研修会には数回お声掛けいただき、地道に活動していました。また、長崎県の事業として令和元年からの3か年をかけて長崎県下12ヶ所を回る知的障害理解啓発研修会は日程を変更しながらも継続して実施されており、長崎市育成会の「長崎よかよか隊」も講師として活動しています。今年度は3か年の最後の年となり、10月2日に壱岐市において研修会が行われました。

当日、早朝の飛行機で壱岐入りし、70余名の参加者の皆さんへの疑似体験研修会を行いました。全国的にも緊急事態解除後の実施となりましたが、参加者の皆様には感染症対策にご協力いただき、疑似体験においても使用した軍手やリボン、シールはお持ち帰りいただくなど工夫しました。参加者の皆様の反応も良く、大変盛り上がった研修会になりました。

コロナ禍の中でも、可能な対策を取りながらも知的障害のある人の生きづらさや大変さを理解してもらうための啓発活動は止めることなく継続していく必要性を強く感じます。オンラインの活用や少人数グループでの実施など色々な工夫と智恵でこの困難な状況を乗り越えて行きたいと思いました。



隊員募集!

長崎市育成会の理解啓発キャラバン隊「長崎よかよか隊」では隊員を募集しています。あなたにぴったりの役割があります。ご都合に合わせて出動できますので、興味のある方はご連絡ください。

啓発事務局 ☎ 845-5677

おしらせ



社会福祉法人
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部
 長崎市大橋町 19-19
 文教カテリーナ1F
 Tel:095-845-5677
 E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

フラワーアレンジメント・書道
 フラワーは第2、第4土曜日の10:30、書道は第4土曜日の13:00から実施中です！
 フラワーは1回 1400円、書道は1回 500円です。

新年親子の集い
 令和3年度の「新年親子の集い」は分散開催となります。育成会以外の事業所をご利用の方はハートセンター体育室にて行いますのでお申し込みください！
 令和4年1月8日(土) 10:00~11:30
 お申し込みは啓発事務局まで
TEL 845-5677

12月の定例会
 日時：12月7日(火) 10:00~12:00
 育成会生活支援センター会議室(大橋町)
 「クリスマスリース作り」：花アトリエななくさ様のご指導でおしゃれなリースを作ってみませんか？
 ※ お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで
TEL 845-5677

12、1月の本人活動「スマイルくらぶ」の予定

- 12/5(日)「バングラタン作り」
9:30~14:30,参加費 500円+実費
- 12/11(土)「フラワーアレンジメント&ゲーム」
9:30~14:30,参加費 600円+実費
- 12/12(日)「クリスマス会」
9:30~14:30,参加費 500円+実費
- 12/19(日)「ケーキ作り」
13:00~15:00,参加費 300円+実費
- 12/25(土)「クリスマスゲーム大会&書道」
9:30~14:30,参加費 700円+実費
- 12/26(日)「恐竜博物館&ランチ」
9:30~14:30,参加費ひとり 500円+実費
- 12/28(火)「フラワーアレンジメント教室」
10:30~11:30,参加費 400円+花代
- 1/8(土)「新年親子の集い&ゲーム」
9:30~14:30,参加費 500円+実費
- 1/9(日)「新年会&具雑煮作り」
9:30~14:30,参加費 500円+実費
- 1/15(土)「フラワーアレンジメント教室」
10:30~11:30,参加費 400円+花代
- 1/16(日)「ぜんざい作り」
13:00~15:00,参加費 300円+実費
- 1/22(土)「科学館&ランチ」
9:30~14:30,参加費 500円+実費
- 1/23(日)「恐竜博物館&ランチ」
9:30~14:30,参加費ひとり 500円+実費
- 1/30(日)「ホットケーキランチ作り」
9:30~14:30,参加費 500円+実費

★各活動には定員があります。お申し込み多数の場合お断りすることもありますので予めご了承ください。お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで

☎ 095-845-5677